

福島のおゆき国会日誌

<物価上昇を助長する補正予算案に反対>

24日の本会議で令和5年度補正予算案の採決が行われ、私たち有志の会はこの亡国の予算案に当然反対をいたしました。

今回の補正予算案は「物価高対策」と言いながら、政府支出は物価上昇を生むというマクロ経済学のごく基礎的な知識で見ても、物価上昇を助長するものにしかありません。まさにブラックジョークの世界です。

加えて、その財源はすべて公債です。これまでの補正予算は、ほぼ毎回決算剰余金を財源の中心として編成してきました。しかし、今年の剰余金は通常国会で成立した防衛財源確保法によって防衛費のための基金に繰り入れられることが決まっておりますので、これを財源とすることはできません。

私は、景気低迷期に公債を発行しての経済対策を否定はしませんが、物価が上がる予算のために公債を発行するのは愚の骨頂だと考えます

<有志の会 一つ一つの決議・法案を熟議して賛否>

24日、予算案の採決前に緊急上程された、北朝鮮のミサイル発射への抗議決議には賛成いたしました。主要会派で唯一提出会派には加わりませんでした。北朝鮮の行動にはすぐ抗議決議をするのに、中国による日本人拘束に抗議したり、背景にいるアメリカへの配慮でイスラエルとハマスの停戦の決議は遅々としてやろうとしないチキンな国会に同じたくないからです。

また、緊急上程した JAXA 法改正法案にも反対しました。JAXA（宇宙航空研究開発機構）に1兆円の基金を積んで民間企業等に研究費助成を行わせることを内容としていますが、研究者の集団である JAXA が民間研究への目利きなどできるわけありません。国が助成をしなければ進まない民間研究など、そもそも事業として成功した試しがありません。

私たちの会派は、一つ一つの法案の賛否を熟議して決めています。政党の採決マシンの国会議員はいりません。

<人権外交議員連盟で声明作成>

21日、役員を務める「人権外交を超党派で考える議員連盟」の総会で、二つの声明を取りまとめ、私自身もその作成に関わりました。

一つ目の「イスラエル・ハマスの軍事衝突に関する声明」では、「政府はハマスに対してテロ行為の即時中止と人質の即時解放を求め、イスラエルに対しては国際法に違反する一般人とりわけ女性や子供を巻き込む戦闘の即時停止を求めるべきである」として、日本の国会で初めてこのような声明を出せたことは意義のあるものと考えます。

二つ目の「中国における多数の法人拘束事案に関する声明」では、地元出身で中国に6年間拘束されていた鈴木英司さんの意見も聞きながら文言を作成しましたが、与党の一部の要求によって若干抽象的で隔靴搔痒の感のある文言となってしまった部分があります。

この二点の問題について、さらに国会内で大きな声となるよう取り組んでまいります。

<京都市長立候補予定 松井孝治さん会派控室来訪>

22日、国会内の有志の会控室に、京都市長選挙に挑戦する松井孝治元参議院議員が挨拶にいらっしや、有志の会一同と参議院無所属の平山佐知子さんで一丸となって応援することを決定いたしました。

松井さんは通産省の先輩でもあり、橋本行革では官邸で中核となった方です。松井さんの統治機構改革論に大いに影響を受けました。松井さんが古都から日本の閉塞感を打ち破るような活躍をすることを期待しております。

